

象頭山

# 琴平町

## 観光案内図

「さぬきのこんびらさん」の名で親しまれている金刀比羅宮は、象頭山山腹に鎮座する社で、石段を登る長い参道で知られています。「琴平町」は、こんびらさんの麓にひろがる小さな町です。古くから大勢の参拝者で賑わい、現在も年間400万人の観光客が訪れます。



# 琴平町

琴平町観光商工課 ☎ (0877) 75-6710  
香川県仲多度郡琴平町横井817-10 URL: <http://www.town.kotohira.kagawa.jp/>

### 旅館一覧

- |                          |                        |                       |
|--------------------------|------------------------|-----------------------|
| 1 ことひら温泉 琴参館 ☎75-1000    | 6 こまの湯温泉 紅梅亭 ☎75-1111  | 11 富士旅館 ☎75-2245      |
| 2 こんびら温泉 瀬元 八千代 ☎75-3261 | 7 つるや旅館 ☎75-3154       | 12 貸切湯の宿 ことね ☎75-6633 |
| 3 琴平花壇 ☎75-3232          | 8 虎丸旅館 ☎75-2161        | 13 ことぶき旅館 ☎75-3872    |
| 4 ホテルニューわたや ☎75-4111     | 9 琴平リバーサイドホテル ☎75-1880 | 14 橋本屋旅館 ☎75-2031     |
| 5 琴平グランドホテル 桜の抄 ☎75-3218 | 10 宝屋 ☎75-5195         | 15 一心館 ☎75-2526       |
- 市外局番 (0877)

四国讃州の  
歴史街道は、  
石段に続く。



旭社



書院



宝物館

一生に一度は こんびらまいり  
金刀比羅宮は、大物主神と崇徳天皇をおまつりし、古くから庶民の神様として信仰を集めています。境内には表書院をはじめとする博物館施設など、多くの見所があります。  
参拝自由。博物館施設有料。



## 旧金毘羅大芝居「金丸座」

こんびらさんの参道脇に建つ旧金毘羅大芝居[金丸座]は、天保6年(1835年)に建立された現存する日本最古の芝居小屋です。毎年春には、「四国こんびら歌舞伎大芝居」が開催され、人気役者による公演が行われています。

開館時間…9:00~17:00

休館日…年中無休。但し、催物開催日は休館いたします。  
入場料…大人500円、中・高生300円、小人200円



## 高灯籠

地鎮祭から5年がかりで万延元年(1860)に完成。高さは27.6mあり、日本一の高さを誇る燈籠です。当時の費用は金3千両とか…。丸亀の沖合を通る船や、金毘羅を目指して歩く人々の重要な目印になっていたと言われています。



## 麓に広がる花の雲

小泉八雲(ラフカディオ・ハーン)は、明治28年(1894)桜と桃と花盛りの頃、男児誕生を祝い「こんびら参り」に訪れ、「嗚呼、何と言う美しい町でありましょう。」「何と多く古物が残っているではありませんか、…その光と日の黄金との中に道が続いて、まるで極楽へでも行くような幻の町のように思えた。」「町全体が芸術品であります。」と友人に宛てた手紙に、感動した思いを綴っています。



## 次郎長一家のこんびら参り

「江戸っ子だってね」、「神田の生まれよ」、「食いねえ、食いねえ、スシ食いねえ」…。森の石松の金毘羅代参での旅の道中(帰りの船上での一場面)を物語る、浪曲「石松代参三十石船」の有名な台詞です。

先に、清水次郎長は子分数名と讃岐に訪れ「金毘羅様に仇討ち成就」を願かけ。後に、首尾よく仇討ち(悪人 長兵衛の怨みを晴らす)を果たすことができました。万延元年(1860) その、お礼参りの代参に訪れた森の石松は、石段途中の旭社(628段目)を、当時のご本宮である金毘羅大権現(785段目)と間違えて、刀(肥前国忠吉)を奉納して、参拝を済ませて引き返したそうです。帰路、近江草津の親分さんの言付けを預かり、清水へ向う道中 悲劇に遭い帰郷は果たせませんでした。このことから石段の途中で引き返しては、ご利益が授からないと言われるようになったとか…。

